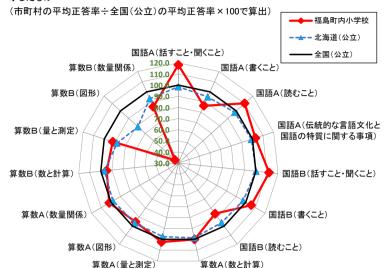
## ■福島町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:22人)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

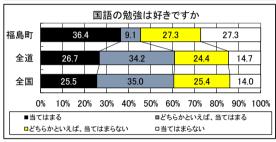


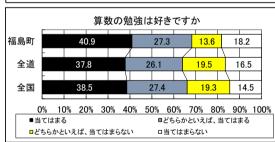
## <u> <福島町の平均正答率></u>

国語A	国語B	算数A	算数B	
76	57	78	40	

## 【児童質問紙調査】







## 【学校質問紙調査】

福島町					100	.0				
-										
全道				71.8					26.5	0
Ŀ										
全国	全国		53.7				4		4.6	
0%	10	)% 2	0% 3	0% 40	0% 50	% 60	% 70	% 80	0% 90	0% 100%

#### 【分析】

- 国語Aにおいて、全国の平均正答率を上回り、B 〇 において、全道の平均正答率を上回っている。 算数Aにおいて、全道の平均正答率を上回ってい 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統 的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bで 科 教 は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っ ている。 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で 全国を上回り、Bでは、「量と測定」で全道を上回っ ている。 〇 「国語の勉強は好き」「算数の勉強は好き」と回答 児童質問紙 した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 すべての学校が「平成28年度全国学力・学習状況」 調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や 学校質問紙 課題を共有した」と回答している。
  - 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有し、課題が見られる単元や領域について計画的に指導した結果、学力向上に結び付けることができたと考えられる。
  - 少人数指導や放課後の補充的な学習サポートなどを行った結果、学習内容の理解が深まり、「国語や算数が好き」と回答した児童が、全国を上回ったと考えられる。

### 【福島町の学力向上策】

- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための計画的な授業改善の取組
- ◎ 思考力・判断力・表現力等を育成するための計画的な授業改善の取組
- ◎ ティーム・ティーチングによる習熟の程度の応じた少人数指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の補充的な学習サポートの強化

## ■福島町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:30人)

の特質に関する事項)

### 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

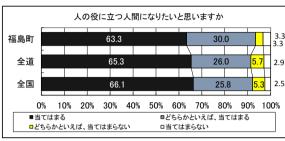
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

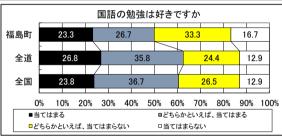
#### 福島町内中学校 → - 北海道(公立) 国語A(話すこと・聞くこと) 全国(公立) 数学B(資料の活用) 国語A(書くこと) 国語A(読むこと) 数学B(関数) 90.0 kn.n 国語A(伝統的な言語文化と 数学B(図形) 国語の特質に関する事項) 国語B(話すこと・聞くこと) 数学B(数と式) 数学A(資料の活用) 国語B(書くこと) 数学A(関数) 国語B(読むこと) 国語B(伝統的な言語文化と国語

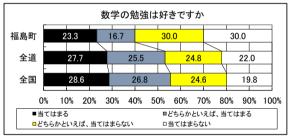
### <福島町の平均正答率>

国語A	国語B	数学A	数学B
64	60	54	30

## 【生徒質問紙調査】

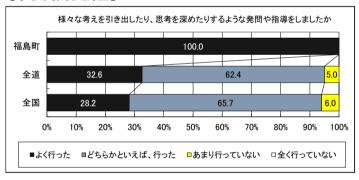






### 【学校質問紙調査】

数学A(図形)



数学△(数と式)

### 【分析】

- )様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導を行った結果、学習内容の定着が図られてきていると考えられる。
- 少人数指導や放課後の補充的な学習サポートなどを行った結果、学習内容の理解が深まったと考えられる。
- ○「国語や数学が好き」と回答した生徒が、全国を下回っており、学習意欲の向上を図る授業改善を進める必要がある。

# 【福島町の学力向上策】

- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための計画的な授業改善の取組
- ◎ 思考力・判断力・表現力等を育成するための計画的な授業改善の取組
- ◎ ティーム・ティーチングによる習熟の程度の応じた少人数指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の補充的な学習サポートの強化